

被爆者からの平和行進へメッセージ

今年には戦後 78 年、被爆後 78 年を迎えます。振り返れば長い年月ですが、戦争や原爆を体験した私たち被爆者にとっては遠い過去のこととは思えません。広島長崎で被爆した悲惨な出来事は決して忘れることはできません。

わたしたちはふたたび悲惨な体験を誰にもさせたくないと原爆被害の実相を、語り、一途に戦争のない、平和な世界を求めて核兵器の廃絶をあらゆる機会に日本政府や、世界に訴えてまいりました。

目的達成には程遠くまだ多くの難関がありますが希望は捨てていません、あきらめてもいません。

国連加盟の 2/3 の多数の国と地域の賛同で採択された「核兵器禁止条約」が 2021 年 1 月 22 日に批准され国際条約として成立しました。核兵器の製造・使用・威嚇などあらゆる核兵器に関する活動を禁止する画期的な条約です。核兵器廃絶へ大きな役割を果たすものと確信しています。

唯一の戦争被爆国の日本は参加しておりませんが、世界の潮流は核兵器の禁止、廃絶であり、必ずや前向きに対応されることを確信しています。

昨年 2 月の軍事大国であり核兵器保有大国であるロシアによるウクライナへの侵略はあまりにも横暴で無謀な行動であり、世界の秩序を根底から覆しました。さらに核兵器の使用も辞さないとの発言には全く許しがたい暴言です。

一刻も早く停戦し撤退して、ウクライナに平穏を取り戻してもらいたい。これらの情勢から世界は軍拡競争に入り、日本でも軍備増強を決定し、軍事費の大幅増額を決定しました。大変危惧しています。

日本はあくまで非核三原則と専守防衛を堅持するべきです。

今年 5 月、G7 サミットが被爆地広島で開催されます。核に関する議題は当然取り上げられるものと岸田首相のリーダーシップを注視しています。

わたしたちは、あらためて核兵器の非人道性や人類とは共存できないことを確認し、核兵器はいらない、戦争のない、平和な世界を皆さんと共に、訴えてまいります。

日本政府には「核兵器禁止条約へ署名と批准」を求めましょう。